

すすめ！！びわっこ探検隊 活動レポート

冬季

公益財団法人 淡海環境保全財団

ラムサール条約登録湿地の琵琶湖を取り巻く自然環境の豊かさを体験しよう！！



【すすめ！！びわっこ探検隊について】

淡海環境保全財団では、子どもたちが自然環境に興味、関心を持つきっかけづくりとして、県内在住の小学4年生から中学2年生を対象に、びわ湖をはじめとする滋賀県の豊かな自然環境や自然と人の共生、文化などを学び体験するプログラムを年間4回開催しました。

このたび、冬季プログラムを開催しましたので、その様子をお伝えします。

【冬季プログラム】

開催日 令和8年(2026年)1月31日(土) 9:30~12:00

場所 財団ヨシ苗育成センターおよび琵琶湖湖岸(草津市下物町周辺)

講師 日本野鳥の会滋賀

(活動内容)

- 1 ヨシ刈り体験(刈取り、ヨシ束作り、ミニ丸立て作成)
- 2 オオヨシキリの巣探し
- 3 水鳥観察(琵琶湖湖岸)

○ヨシ刈り体験

財団職員から、ヨシ刈りの意義やヨシの有効利用について説明をした後、ヨシ刈り体験を行いました。



安全に配慮しながら、保全活動であるとともに「収穫」でもあることを意識して作業しました。

刈り取られたヨシは、「腐葉土」の材料として有効利用します。

○オオヨシキリの巣探し

ヨシ原の中に巣を作る鳥「オオヨシキリ」の巣（子育てを終えてヨシ原に残されたもの）を探しました。



丁度、刈り取ったヨシの近くで見つかり、間近で観察ができました。

野鳥の会から、巣がどのような場所に作られるか教えていただきました。



○水鳥観察会

湖岸に移動して、水鳥の観察会を行いました。ラムサール条約にも登録されている琵琶湖には多くの水鳥が見られ、体色やクチバシの形などの違いを観察しながら、どんな水鳥が観察できたかをチェックシートで確認しました。



フィールドスコープを用いて、水鳥の特徴をはっきりと観察できました。



活動のふりかえり

時折雪の舞う中、7名の参加者は元気に活動していました。

ヨシ刈りでは刈る人、運ぶ人、揃える人と役割分担をして、皆で協力してヨシ束を作りました。水鳥観察では、「フィールドスコープ」を使うとともに、野鳥の会の方から水鳥の特徴や生態について詳しく教えていただきました。参加者からは、「キンクロハジロの色が良かった。」、「カモはクチバシの形が違って面白かった。」という感想をいただきました。

皆さん、お疲れ様でした！！



冬季プログラム修了